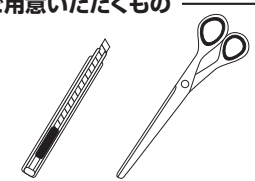


手作りマグネットステッカー A4

この度は、サンワサプライのインクジェット用手作りマグネットステッカーをご購入いただき、誠にありがとうございます。この製品は、インクジェットプリンタで印刷後、UVカットフィルム、マグネットシートと貼り合わせて、マグネットステッカーが手作りできるキットです。この製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

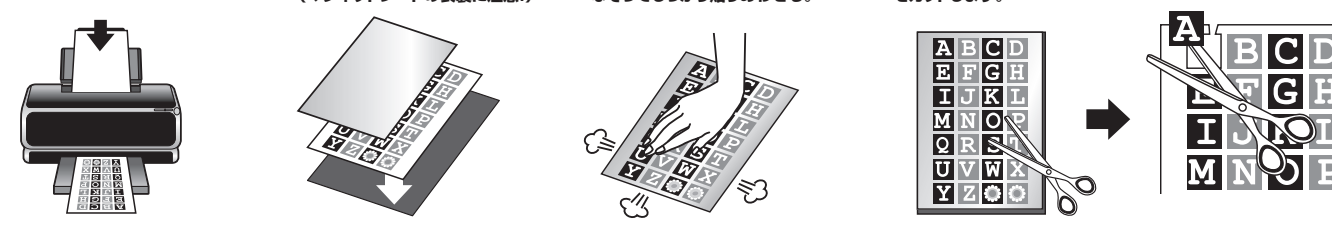
準備するもの

A4 サイズ 2 枚 インクジェット用 ホワイトフィルムシール (A4サイズ) ※この用紙に印刷します。	+	A4 サイズ 2 枚 UVカットフィルム (A4サイズ) ※こちらには印刷できません。	+	A4ノビ サイズ 2 枚 特厚マグネットシート (A4ノビ) ※こちらには印刷できません。	ご用意いただくもの  カッター or はさみ
--	---	--	---	--	---

使用方法

- インクジェット用ホワイトフィルムシールに印刷する。(十分に乾燥させる)
- マグネットシートに①のシールを貼り合わせ、その上にUVカットフィルムを貼る。(マグネットシートの表裏に注意!)
- UVカットフィルムののりは格子状なので、気泡ができて自然に抜けますが、手で軽くなぞってしっかり貼りあわせる。
- キレイにスレなく貼れるよう、マグネットシートはA4サイズより大きめです。余分なところをカットします。

そのままA4サイズで、または好きな形に切ってください。



1 ステッカーのデザインをして、ホワイトフィルムシールに印刷をします。

■デザインする。

インクジェット用ホワイトフィルムシールは、A4サイズの定型なので好きな柄、イラスト、写真を配置してデザインしてください。

●このフィルムは湿気を吸いやすい性質がありますので、使用前まで袋から出さないようにしてください。

★デザイン素材がダウンロードできます★

パッケージに使っているステッカーのイラストの他、かわいいイラストがサンワサプライのサイトよりダウンロードできます。最新の情報やテンプレート、自由に使える素材のダウンロードについては、用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」<http://paperm.jp/へgo>!

■印刷する。

- このシールには裏表があります。光沢のある面が表面で印刷面です。印刷面がプリンタのノズル部分に来るように用紙をセットしてください。
- 静電気が原因で一度に2~3枚給紙されるのを防ぐため、用紙は1枚1枚給紙してください。(プリンタの機種によっては、厚紙モードで使用してください)
- 使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差がでることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。
- 目的に応じたより高品質な出力結果を得るために、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度などを調節してください。
- 半日~1日以上、十分に乾燥させてください。※用紙の表面はすぐ乾きますが、用紙内部のインクの十分な乾燥には時間がかかります。乾燥が不十分な状態でUVカットフィルムを貼ると、ニジミの生じる恐れがあります。

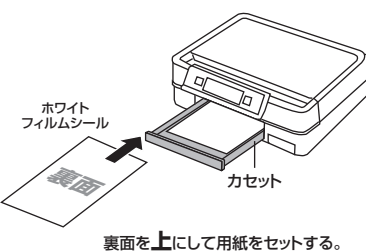
印刷面

※光沢のある面が表面(印刷面)で、光沢のない面が裏面です。

<用紙の給紙の仕方>

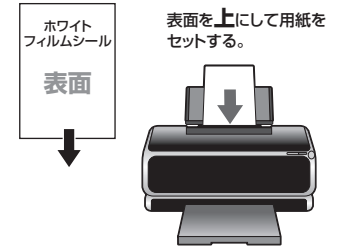
プリンタが前面給紙か背面給紙かによって用紙のセットの仕方が異なりますので、ご注意ください。

<前面給紙の場合>



※光沢のある面が表面(印刷面)で、光沢のない面が裏面です。

<背面給紙の場合>



<用紙設定・モード設定(例)>

印刷の際には下記のモード設定でご使用いただくと良好な画像を得ることができます。

プリンタ	用紙設定	印刷モード
エプソン	EPSON写真用紙	きれい
キヤノン	写真用紙 光沢	きれい

おすすめプリンタ

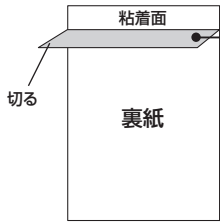
エプソン EP-PX・PM・CCシリーズ、MJシリーズ
キヤノン PIXUS MG-MX・iPシリーズ

※顔料系インクを使用した場合、黒など濃度の高い色のベタ部分で油状の光沢感が出る場合があります。また、印刷直後に印刷した部分(特に黒など色の濃い部分)をさわると、印刷内容がこすれたりはがれたりする恐れがあります。十分に乾燥させてください。機種によっては印字部分の光沢感が若干損なわれることがあります。

※フォトブラックインクとマットブラックインクの切替えができる機種は、フォトブラックインクを使用してください。マットブラックインクは使用できません。

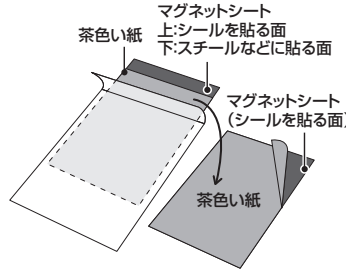
2 ①で印刷し、十分に乾燥させたシールとマグネットシートを貼り合わせます。

シール



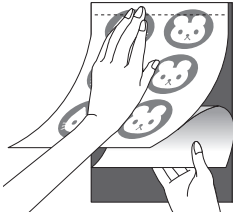
裏紙をはがし、裏紙の端を少し折り曲げて、予め1cmくらい切っておくとシールをマグネットシートに貼りがよくなります。
※このとき、他のものにシールが貼り付かないようご注意ください。
※印刷面を折るとカタがつきますので、ご注意ください。

マグネットシート

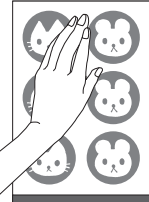


マグネットシートを取り出します。マグネットシートには、裏表があるので、マグネットシートを袋から取り出す時、上下が逆にならないようご注意ください。
※茶色い紙が乗っている面がシールを貼る面です。
※茶色い紙は汚れ防止のために入っています。
※マグネットが強力なため、2シートくっついていることがありますので、取り出すときはご注意ください。

また、マグネットシートの表面にゴミがないよう、キレイかどうか確認してください。



最初にはがした部分をマグネットシートの端に合わせて貼り付け、裏紙を少しずつはがしながら気泡やシワが入らないようゆっくりシールを貼ります。
※気泡がでにくい格子状の糊を使用しています。



手でシールの上を汚れつかないようにそり、しっかりシールを貼り付けます。
※貼り合わせが不十分だと、シールはがれる恐れがあります。

3 ②にUVカットフィルムを貼り合わせます。

②でシールとマグネットシートを貼り合わせたものに、UVカットフィルムを貼ります。

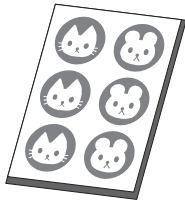
位置を決めて端から貼り合わせます。

UVカットフィルム裏面

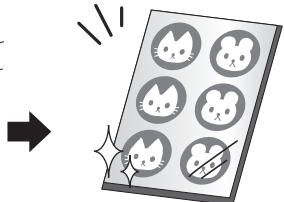
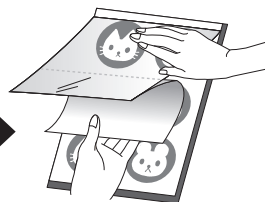
まずは細いところをはがす

UVカットフィルムの、残りの裏紙をはがして、気泡がでないようゆっくりと貼り付けます。

上からよくなぞってUVカットフィルムとシールをしっかり貼り合わせます。
※格子状の特殊糊を使用しているため、気泡がでにくい美しく仕上がります。

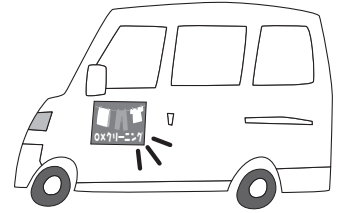
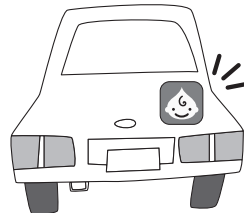
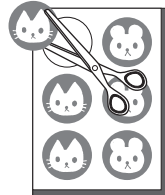
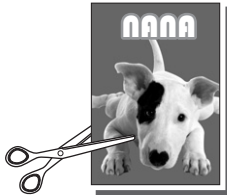


細いところで位置あわせをして貼る



4 好きな形にカットして使用します。

A4サイズで使いたいときは、余分なマグネットシートを切り取ります。また、お好きな形にカットしてお使いください。



★車やバイク等を使用する時のご注意★

- 車種によりマグネットが貼り付かないことがあります。ご確認の上、ご使用ください。
- マグネットは曲面のある部分に貼らず、平滑面に、なるべく隙間がないようしっかりと貼り付けてください。
- マグネット面および貼る場所の汚れや水分は十分にふき取ってください。車両に傷がついたりマグネットの吸着力が悪くなりはがれやすくなることがあります。
- 強力マグネットを使用していますが、マグネットの吸着は接着や機械的固定ではないため、吸着力以上の力がかかったり、しっかり吸着されていない状態で使用すると、容易に車両などから剥離・脱落する恐れがありますので、ご注意ください。
- 再塗装や特殊な塗装の車種では塗装が弱くはがれる恐れがあるので、降車時にはできるだけマグネットを取り外してください。

- 屋外・高温下で用いる場合、長期間マグネットを貼ったままにせず定期的に脱着し、貼り場所を変えてください。(特に夏季は毎日脱着を推奨) またそのときは、マグネット面をきれいにしてください。マグネットがはがしくなったり、塗表面に汚れが発生したりする恐れがあります。
- 長期同じ場所にマグネットを貼ったままにしておくと、塗表面がはがれたり、また日焼けなどでマグネットを貼った部分と車両の色との間に違いが生じることがあります。
- 洗車や高速運行時、長期に車を放置するときは、マグネットを取り外して保管してください。
- マフラー、ラジエーター、エンジン部分など、特に熱を持つ部分には決して貼り付けしないでください。またフロントのボンネット部分への貼り付けもおすすめしません。
- 安全運転の妨げになったり、法律違反になったりするような場所への貼り付けは決してしないでください。

使用上の注意

- (マグネットシート)
- 絶対に口に入れないでください。誤って飲み込んだ場合は嘔吐させ、医師に御相談ください。
 - マグネットシートを磁気テープ、フリベイドカード、切符などの磁気カード類、時計、ブラウン管等に近づけると、磁気記録が破壊・磁化されて使用できなくなることがありますので、ご注意ください。
 - マグネットシートに電磁石、希土類磁石、高圧電線などに近づけないでください。マグネットシートの吸着力が弱くなり、剥離する場合があります。
 - マグネットシートの廃却処分しないでください。塩素ガスが発生します。廃棄処理は国及び自治体の法令に従ってください。
 - 屋外使用や高温・下など、特殊な状況下での使用、又は被着体の表面性(塗装の種類・塗料の状態・表面状態など)により、マグネットシートがはがれやすくなったり、汚れが付着したりする恐れがあります。この予防のためのコーティング処理は行なっていませんが、どの状況下においても完全に防ぐことはできませんので、予めご了承ください。
 - マグネットシートの鉄への吸着は、接着や機械的固定ではないため、吸着力以上の力がかかったり、端部などマグネットシート全体が吸着されていない状態で使用すると、被着体から剥離・脱落が発生します。それらによって、事故が発生することのないよう、設計用途にご注意ください。

- (インクジェット用シール)
- プリンタによって印刷領域が異なります。各種の取扱説明書をご確認ください。
 - 印刷前にシールをはがすことはプリンタトラブルの原因になりますのでお避けください。
 - 印刷面をこすったり、傷つけたり、折り曲げたりしないでください。
 - 用紙が丸くカールしたり、シワにならないように取り扱ってください。万一、カールしたならば必ずカールを直してから使用してください。またこの時、用紙の表面が波状にならないようご注意ください。
 - コピ機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。
 - 水濡れや直射日光・経年変化により、印刷面が変色することがあります。
 - プリンタの種類、印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより、画像色・画像の精細さが変わることがあります。

- (UVカットフィルム)
- 各プリンタ、各機種によって、またインクの色によって色落ち速度が違うため全体の色調が変わる可能性がありますので、ご注意ください。
 - このUVカットフィルムによって、色あせ、変色の速度を遅らせることはできませんが、環境によりその効果は異なり、完全なものではないので、必要な書類などには使用しないでください。
 - 以下の環境では十分な効果を発揮できないことがあります。
 - 屋外での使用
 - 直射日光のある場所
 - 高温多湿の環境で印刷・保存した場合
 - 薬品を使う環境

保管上の注意

- <共通>
- 対応プリンタ、使用方法など、ここに記載されている以外の方でのご使用になられた場合に生じた不具合について、弊社では一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
 - 用紙は必要なだけ取り出し、開封後はなるべく早くお使いください。

- (マグネットシート)
- マグネットシートは軟質ゴム磁石です。取扱いによっては、変形や傷が発生することがあります。使用の直前に袋から取り出すようにし、凹凸がある場所での保管は避けてください。
 - 保管場所は、高温多湿を避けてください。高温によるシートの変形が生じる場合があります。保管場所は温度30℃以下、湿度60%以下が適当です。

- (インクジェット用シール・UVカットフィルム)
- 使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がかからないようにして、水平に保管してください。外で長い時間放置したままですと、反りが発生したり変色する可能性があります。
 - 高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。
 - 開封切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。

※万一製造上の不備がございました場合には、同数の新しい製品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
※本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取替え、その他の補償はご容赦ください。
※製品改良のため、仕様・外観は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。
※記載の社名及び製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

開封後はお早めにお使いください。